

意 見 書（医師記入）

おとは保育園 園長 殿

入所児童名

病名

病状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

年 月 日から登園可能と判断します。

年 月 日

医療機関名

医師名

保育園では乳幼児が長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の記入をお願いします。

○医師が記入した意見書が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園めやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発しん出現後の4日後で	解熱後3日を経過してから
風しん	症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度まで）が最も感染力が強い	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になってから ※流行性耳下腺炎に罹患したことがない場合、ただの耳下腺炎と診断されても流行性耳下腺炎の疑いがあるため、提出が必要（園医の指導により）
結核		感染のおそれがなくなってから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	おもな症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失してから、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了してから
腸管出血性大腸菌感染症 （O157、O26、O111等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数か月排出される	感染のおそれがなくなってから
髄膜炎菌性髄膜炎		感染のおそれがなくなってから